

創立 30 周年記念
帆船日本丸を愛する男声合唱団
第 28 回定期演奏会



挿画：柳原良平

2024 年 5 月 4 日 (土) 13 時 30 分開演
神奈川県立音楽堂

ご挨拶

本日はゴールデンウィークのまっただ中、いろいろご予約もあったと思いますが、みなさま、ようこそお越し下さいました。心より感謝申し上げます。

港ヨコハマの地に「帆船日本丸を愛する男声合唱団」が誕生して30周年を迎えました。横浜美術館レクチャーホールで200名ほどのお客様の前での演奏会を皮切りに、徐々に会場を広いところに移し、第8回定期演奏会(2003年)以降は、ここ神奈川県立音楽堂をホームステージとしてきました。新型コロナウイルスに翻弄された3年あまりを経て、ステージ上の人数制限、客席数の制限もなくなりました。

私たちはシー・シャンティをメインレパートリーとする日本で唯一の合唱団と自負しておりますが、海、川、湖、そしてお酒に関する様々な楽しい歌に加え、ハーモニーを重視した楽曲にも挑戦しております。精一杯歌いますので、お楽しみいただけましたら幸いです。

帆船日本丸を愛する男声合唱団 一同

♪ プログラム ♪

Weather Side

1. Sailing, Sailing !
2. The Ebenezer
3. Erie Canal
4. Can't You Dance the Polka ?
5. I've Got Six Pence
6. Lowlands
7. Blow the Wind Southerly
8. Rolling Home

Lee Side

1. そうらん節
2. うみ
3. 海メドレー
4. 海 その愛
5. 琵琶湖周航の歌
6. おやじの舟歌
7. ウキスキー・ジョニー
8. Pearly Shells
9. Red Sails in the Sunset
10. Strike the Bell

シー・シャンティとは

シー(sea)は海、シャンティ(shanty, chanty)は歌。帆船時代に大型の横帆船の甲板上で、水夫が綱を引いたり、キャプスタンや巻揚機を巻いたりする共同作業の際に歌われた労働歌を元としています。産業革命以降、木造船が鉄造船になり、帆船から蒸気船になるにつれ、水夫の仕事の内容も変わり、歌われる機会が減ってきました。しかしそれと同時に、シーシャンティは、他の民謡と同じように採譜され、編曲され、伴奏が付けられ、プロやアマチュアの合唱団で歌われるようになりました。機械化・AI化が進展した現代にあっても、帆船そしてシーシャンティは、ヨーロッパを中心に世界中で愛され続けています。

シーシャンティは、労働の内容に応じていくつかのタイプに分けられます。「ショート・ホール・シャンティ」、「ハリヤード・シャンティ」、「キャプスタン・シャンティ」などです。この他に「フォクスル・シャンティ」と言って、非番の船乗りたちが彼らの船室でくつろぎのひと時に歌った歌もあります。こちらは、バラード風で、滑稽なもの、恋人のこと、冒険、歴史上の人物などを題材にした歌の多いのが特徴です。

本日の演奏会

指揮 大久保 憲

東京藝術大学音楽科卒業。イタリア留学時、ミラノにおいてオペラ、コンサートに出演。帰国後、二期会、新国立劇場合唱団メンバーとしてオペラ公演に多数出演。当合唱団キャプテン（第4代）。

ピアノ 神谷季世子

国立音楽大学教育音楽学部卒業。ブライダルオルガニスト。都内ホテルラウンジにてピアノ演奏。ジャズピアノを辛島文雄氏に師事。ヤマハポピュラーミュージックスクール講師。ライブハウス等で活躍中。

ギター 鈴木敏幸

尚美高等音楽学院（現、尚美学園大学）修了後、ジャズギターを宮之上貴昭氏に師事。現在、横浜、東京等を中心に幅広く音楽活動をするなか、自己のグループにおいてライブハウス等で活躍中。

ベース サリー佐藤

ジョン・ヒックス（ピアノ）、ハンニバル・M・ピーターソン（トランペット）と「We Four」をレコーディング。現在、オールマイティなベースプレイヤーとして、横浜のライブハウスを中心に活躍中。

.....

歴代キャプテン

- | | |
|-------------------|-----------------------------------|
| 大町正人（第1回～第14回） | 当合唱団創立者・初代キャプテン、元ボニージャックス・リードテナー。 |
| 白石卓也（第15回～第19回） | 第2代キャプテン、オーケストラ・合唱指揮者。 |
| 大森いちえい（第20回～第26回） | 第3代キャプテン、新国立劇場で数々のオペラに出演中。 |

お世話になった先生方

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 大町ますみ | ソプラノ歌手、当合唱団ヴォイストレーナーを長く務める。 |
| 石黒孝子 | ピアニスト・音楽講師、当合唱団のシー・シャンティを多数編曲。 |
| 篠田昌伸 | 作曲家・ピアニスト、当合唱団のシー・シャンティを多数編曲。 |



帆船日本丸を愛する男声合唱団

1994年5月、横浜市文化振興財団により「ワークショップ～男声合唱編」が開催され、その時の指導者（故大町正人）をキャプテン（音楽監督・指揮者）として結成された男声合唱団。船乗りの労働歌をもととする「シー・シャンティ」をメインレパートリーとし、船や海に関する日本の歌も得意としている。

毎年の定期演奏会に加え、海の日イベント等でも演奏。世界中の大型帆船とシー・シャンティ合唱団が集う世界帆船祭りにも2回招待出演（2003年オランダ・デルフザイル市「デルフセイル2003」、2014年7月ノルウェー・ベルゲン市「トールシップ2014」）。国際シー・シャンティ協会（ISSA）には、アジアの合唱団で唯一加盟。毎週火曜日および月1回の休日練習で腕を磨いている。

団員募集中です。オーディションはありません。海が好きな方、船が好きな方、歌が好きな方、一度見学にお越し下さい。詳しくは、ホームページをご覧ください。<https://ssnippon.sakura.ne.jp>

Weather Side (風上) シー・シャンティ

1. Sailing, Sailing traditional sea shanty、編曲：Roger Wagner

さあ出帆だ、出帆だ。波躍る大海原の彼方へ向けて。

日本丸合唱団演奏会のオープニングを飾るにふさわしい曲です。大型のバーク船（注：日本丸は4本マストバーク船です）が、お誂えの追い風に乗って、波躍る大海原の彼方にある自由の国に向かって出航する様子を描いています。今夜の旅立ちの前に、祖国と快活な女性たちのために歌をうたおう、船乗りに乾杯、兵士に乾杯と、胸は高なります。

2. The Ebenezer traditional sea shanty、編曲：篠田昌伸

帆船エベニーザ号に乗り込んだ新参の船乗りが、毎日船のデッキを洗ったり、機械に油を差したりしながら、知り合った仲間や上司のことを歌っています。たとえば、船長 (captain、歌の中では the old man) を「酔っぱらいの老いぼれ」とけなしたり、一等航海士 (chief mate) を「汚れた乞食」とののしったり、一流品を身につけている水夫長 (bosun) は港という港に女がいると言ったりと、人物を面白おかしく描写しています。

ところでこの曲のメロディ、良く知った曲に似てませんか。

3. Erie Canal traditional sea shanty、編曲：Roger Wagner、小林正明

エリー湖畔のバッファローからハドソン川上流のオールバニーまでを繋ぐエリー運河は、五大湖と大西洋とを繋ぐ運河で、アメリカ東部と中西部の運搬を一気に容易にしました。1825年の開通後、この運河には沢山の乗客や貨物を積んだバージ (平底船) がミュール (雄驢馬と雌馬のあいの子) に牽かれていました。

しかしディーゼルエンジンの発明により、バージ牽きが機械化され、ミュールは時代遅れとなりました。いよいよ最後のお勤めとなった日、老いた御者は苦勞をともしたサルという名のミュールに労りの言葉をかけるのです。

4. Can't You Dance the Polka ? traditional sea shanty、編曲：篠田昌伸、白石卓也

船乗りの歌のなかで、寄港地で出会う街の女と船乗りとの取り合わせは珍しいことではありませんが、このへんはお話として聞いて下さいね。

ニューヨークに上陸し、ブロードウェイを歩いていたこの船乗りも街の女に声を掛けられ、場末の酒場でポルカを踊るだけのつもりが、ティファニーで金のイヤリングまで買ってやりながら、やっぱり騙されてしまった、というお話です。

この曲の題名は「New York Girls」と言われることもあります。

5. I've Got Six Pence traditional sea shanty、編曲：福永陽一郎

これは諧謔的な歌です。一人の船乗りが僅か6ペンスの給料をもらった喜びを、自分はこれで一生暮らしていけるし、まるで王様になったくらい幸せな気分だ、と歌います。

当時の船乗りの給料がいかに少なかったかが判るような、大変ユーモラスな歌です。

この歌の典拠は不明ですが、マザー・グース童謡集に "I love sixpence" というたいへん良く似た歌があります。おそらく、この歌の別バージョンあるいはパロディとして、このシャンティが生まれたと思われます。

6. Lowlands / Lowlands Away traditional sea shanty 編曲：Roger Wagner、小林正明
元はスコットランドの挽歌で、Lowlands of Holland (1760 年) という歌が、その起源だとされています。遠く lowlands に離れていた恋人が夜中に夢の中に現れますが、彼女の両方の目が白くなっているのを見て、愛する恋人は既に死んでしまっていることを知るので。

この歌には、亡くなった恋人が女性とする歌と、男性とする歌があります。男性とする版では、船員自身の視点ではなく、残された愛する人の視点から船員の人生を描くことになります。

いずれの場合も、美しくメランコリックな詩、スローで内省的な曲調で、感動的な曲のひとつとなっています。

7. Blow the Wind Southerly traditional English folk song 編曲：篠田昌伸

この曲はイングランド北部ノーサンブリア地方の伝統的な民謡です。南風が吹いて恋人の乗った船(バーク船)が、無事に私のもとに帰ってくることを切実に願っています。1834年に印刷物として初めて登場して以来、多くの人が独唱用・合唱用に編曲しています。歌詞もいくつかのバージョンが存在します。

8. Rolling Home traditional sea shanty 編曲：Norman Luboff、小林正明

長い航海を終えて、祖国へ帰る船に揺られながら、恋しい懐かしい大地ニュー・イングランドに思いを馳せる船乗りたちの心のうちを歌っています。

この歌はもともとイギリス船で歌われましたが、のちにアメリカ船でさらに歌われるようになりました。歌詞の内容も、船はアメリカ北東部のニューイングランドを目指しています。



Lee Side (風下) 海の歌、ほか

1. そうらん節 北海道民謡、作曲：清水 脩、編曲：福永陽一郎

勇壮な漁師の歌の中でもピカーのこの曲、「ヤン衆」と呼ばれる出稼ぎ漁師がニシン漁での一攫千金を夢見て、津軽海峡を渡ってやってきました。ニシン漁の中心地、江差の町は江戸よりも華やかと言われ、ニシン御殿が建ち並びました。現在もその面影が残っています。「くき(群来)が続けば千両や万両」と景気の良い歌詞が出てきます。

群来とは、文字通りニシンの群が来るという意味ですが、産卵を伴うのが真の群来で海が真っ白になります。ニシンの減少で、長らく群来は起きていませんでしたが、2017年には104年ぶりに群来が観察されました。漁業関係者による稚魚の放流などが実を結んだものと言えます。

2. うみ 作詞：林 柳波、作曲：井上武士、編曲：小林正明

海洋国日本の代表的な童謡・唱歌。元文部省唱歌。誰もが知っており、誰もが口ずさめる曲。日本丸合唱団定期演奏会のアンコールはいつもこれで締めていましたが、本日は本編で歌います。

僅か8小節の長さのなかに、海の広さ、大らかさ、素晴らしさが込められています。ふだんは斉唱で歌われるこの曲ですが、小林正明の編曲では、転調と同時に斉唱から合唱へと展開し、また元の調に戻って静かに終わります。

3. 海メドレー 編曲：小林正明

海にちなんだ4曲を小林正明がアレンジしました。1979年に大ヒットした演歌「おやじの海」に始まり、海の安全を守る灯台守夫婦の戦前から戦後に至る25年間を描いた木下恵介監督による映画「喜びも悲しみも幾年月」の主題歌(1957年)が続きます。そして横浜市磯子区生まれの昭和の偉大な歌姫・美空ひばりによる「港町十三番地」(1957年)、最後に、ダウントウン・ブギウギ・バンドのミリオンセラー「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」(1975年)で締めます。

おやじの海	作詞・作曲：佐義達雄
喜びも悲しみも幾年月	作詞・作曲：木下忠司
港町十三番地	作詞：石本美由起、作曲：上原げんと
港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ	作詞：阿木燿子、作曲：宇崎竜童

4. 海 その愛 作詞：岩谷時子、作曲：弾 厚作、編曲：Rachel Stenson、譜割：一ノ蔵男声合唱団

この歌は加山雄三の代表曲のひとつで、1976年5月20日発売の同名のアルバムに収録されています。作曲の弾厚作は加山自身のペンネームで、若大将シリーズの人気俳優でもあった加山の多才ぶりを示しています。NHK 紅白歌合戦でも自身で3回歌唱しており、2021年には加山のデビュー60周年を記念し、加山の出身地である神奈川県茅ヶ崎市の「雄三通り」に「海 その愛」のモニュメントが設置されました。

この歌は、その歌詞の通り、海の大らかさ、強さ、優しさを、高らかに歌い上げています。なお、加山自身は歌うたびに節回しを変えていますが、今回はステンソンの編曲に忠実に従って歌います。

5. 琵琶湖周航の歌 作詞：小口太郎、作曲：吉田千秋、編曲：篠田昌伸

旧制第三高等学校(京都大学の前身)の学生小口太郎が、1917年6月に琵琶湖一周の漕艇中にこの歌詞をつくり、2年前に作られ学生の間で流行っていた「ひつじぐさ」の曲に乗せ合唱しました。

この曲は三高同窓会が寮歌として歌い継ぎましたが、全国に知られるには時間がかかりました。戦後、ボニージャックスが1961年12月にレコード化し、ペギー葉山、フランク永井、都はるみ、小林旭、渡哲也、倍賞千恵子、など多数の歌手がカバーしました。そして1971年、加藤登紀子の大ヒットに至ります。

みなさんご存じの歌と思いますので、ぜひ一緒に歌いましょう。

なお、私たちは、篠田先生の編曲による男声四部合唱曲を格調高く歌うことに挑戦します。

琵琶湖周航の歌

- われは湖の子 さすらひの 旅にしあれば しみじみと
昇る狭霧や さざなみの 志賀の都よ いざさらば
- 松は緑に 砂白き 雄松が里の 乙女子は
赤い椿の 森蔭に はかない戀に 泣くとかや
- 波のまにまに 漂へば 赤い泊り火 なつかしみ
行方定めぬ 浪枕 今日は今津か 長濱か
- 瑠璃の花園 珊瑚の宮 古い傳への 竹生島
佛の御手に いだかれて ねむれ乙女子 やすらけく
- 矢の根は 深く 埋もれて 夏草しげき 堀のあと
古城にひとり 佇めば 比良も伊吹も 夢のごと
- 西国十番 長命寺 汚れの 現世遠くさりて
黄金の波に いざこがん 語れ我が友 熱き心

6. おやじの舟歌 作詞：山川啓介、作曲：坂田晃一、採譜：原田 實

この歌は、初代キャプテン大町正人が所属するボニージャックスの多数の名曲からの選曲です。父の背中を語るかのようなタイトルですが、よく聴くと、わが子に自分の背を見せつつ、わが子の選んだ道を精一杯進みなさいと見守る心優しい父の歌となっています。

7. ウキスキー・ジョニー traditional sea shanty 編曲：A. C. Duncan、小林正明、訳詞：高藤 淳

船乗りたちの長い航海に絶対欠かせないのが liquid (液体) です。帆船時代の初期の頃、それは木の樽に詰めた水とビールだったそうですが、長い航海中に劣化し、飲用に耐えなくなりました。そこで次に登場したのがラム酒でした。ラム酒はまた、不幸にして船長が航海中に死んでしまったとき、その亡骸を保存するために使われたと言われています。

この歌は、酒がもてど命を落としたり、気が狂ってしまった両親や弟がいながら、なお自分は大の酒好きで、ちょっとやそつとで酒に飲まれることはない息巻く、酔っぱらいの船乗りのお話です。なお、名前のジョニーは、古参の船乗り、とくにリバプール出身の船乗りを呼ぶようです。

8. Pearly Shells (真珠貝の歌) 作詞：Webley Edwards、作曲：Leon Pober、編曲：石黒孝子

この歌はハワイアン・ソングで、古くから歌われ、フラを踊るときに演奏されるなど、ハワイでは大変親しまれています。日本でも 1960 年代にビリー・ヴォーン楽団の演奏が大ヒットしました。

♪真珠貝は砂浜で美しく輝いているけれど、どの真珠貝よりも私は貴女のことが大好きです♪ といった内容のラブソングです。

9. Red Sails in the Sunset (夕陽に赤い帆) 作詞・作曲：H. Williams & J. Kennedy、編曲：石黒孝子

1935 年に発表されて以来、多くの歌手に歌われてきたこの曲は、1960 年のザ・プラターズによる歌で、日本でも大ヒットしました。

♪夕焼けに赤く染まったヨットは海の遙か彼方にいるけれど、どうか、あの人を無事に帰してくれますように。あす、二人は結婚するの。あの方は二度と海に出ることはないわ♪、と歌います。

10. Strike the Bell traditional sea shanty 編曲：石黒孝子

航海中の船の上では腕時計などはあてにならず、船乗りは 30 分ごとに鳴らされるタイムベルを時計として船内生活をしています。0 時、4 時、8 時、12 時、16 時、20 時の基準時刻から 30 分後が 1 点鐘、1 時間後が 2 点鐘 … で、8 点鐘は、待ちに待った当直交替を告げる鐘です。当直中に 8 点鐘が少しでも早く鳴ることを期待している船乗りの気持ちをコミカルに歌い、鐘担当の二等航海士 (second mate) を急かす歌です。

帆船日本丸を愛する男声合唱団・第28回定期演奏会

実行委員長：丸山隆男 表紙画提供：柳原良平画伯 シーシャンティ解説：宮崎多加雄

後援：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、公益財団法人帆船日本丸記念財団

朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、**tvk** (テレビ神奈川)

令和 6 年度神奈川県文化芸術活動団体事業補助金対象事業

参考文献：Richard D. Terry “The Shanty Book”, 1921. Walter Goodell “Chanteys and Songs of the Sea”, 1924.

William M. Doerflinger “Songs of the Sailor and Lumberman”, 1951.

Stan Hugill “Shanties from the Seven Seas”, 1961. Wikipediaほか。

印刷：印刷工房



帆船日本丸を愛する男声合唱団・長寿番付

東				蒙御免	西			
横綱	山本 容美	B1	和歌山		横綱	小永井 晃	T2	鎌倉
大関	丸山 一義	T2	久が原	大関	川島 通明	T2	田子の浦	
大関	推野 浩一	T2	南品川	大関	*宮崎 多加雄	T2	三ツ沢	
関脇	*奥 忠恕	B2	逗子	関脇	木村 正次	T1	大阪南	
関脇	稲垣 孟	B2	池尻	関脇	原田 實	B1	北河内	
小結	杉野 雅彦	T1	福岡	小結	岩尾 信正	B2	尾張	
小結	本間 英臣	T2	満洲幸東	小結	鈴木 昭	T2	久里浜	
前頭一	新西 實	T2	滝野川	前頭一	伊藤 隆輔	B1	鶴見	
前頭二	佐藤 精吾	B1	鶴見	前頭二	植木 孝典	B2	宮城野	
前頭三	須藤 義太郎	T2	保土ヶ谷	前頭三	岡本 昭男	T2	豊岡	
前頭四	波多野 義重	B1	大連	前頭四	*依山 大祐	B2	哈爾浜	
前頭五	西山 豊	B2	樺太豊原	前頭五	西川 正留	B2	浜田	
前頭六	廣原 健	T2	横須賀	前頭六	岸本 征夫	T1	天津	
前頭七	北村 知士	B1	東玉川	前頭七	*荒津 一郎	B1	福岡	
前頭八	山口 清隆	T1	衣笠	前頭八	*大崎 逸朗	B2	上州	
前頭九	鶴野 正樹	B1	遠野	前頭九	石井 邦雄	T1	旭ヶ丘	
前頭十	*高野 初徳	T1	宝塚	前頭十	新木 邦男	B1	東蒲原	
前頭十一	丸山 隆男	T1	佐久	前頭十一	大橋 博	B1	元町	
前頭十二	鈴木 純	T1	佐世保	前頭十二	野本 秀雄	T2	博多	
前頭十三	山路 永司	B2	石鏡山	前頭十三	*江野 村勝	T1	大倉山	
前頭十四	近藤 師雄	B1	武蔵野	前頭十四	雨宮 伊依	B1	甲州	
前頭十五	須藤 信行	B2	山城	前頭十五	近森 茂雄	T1	土佐	
前頭十六	◆渡辺 浩久	B2	沢渡	前頭十六	二村 修	T2	南河内	
前頭十七	◆古川 幸一	B1	大阪福島	前頭十七	飯島 伸雄	T1	伊東	
前頭十八	大和 浩章	T2	発寒	前頭十八	*鈴木 重幸	B2	神奈川	
前頭十九	◆櫻井 善紀	B2	津山	前頭十九	熊田 公信	T1	神田	
前頭二十	◆中村 圭一郎	T1	鷺沼	前頭二十	倪 瀨波	B1	寧波	

親方・キャプテン
大久保 憲

創立者・キャプテン
第二代キャプテン
第三代キャプテン

大町 正人
白石 卓也
大森 山也
元山

T1部屋(トップテナー)	出場77名 休場 2名	部屋頭:岸本征夫	最高位:関脇(85歳)
T2部屋(セカンドテナー)	出場73名 休場 7名	部屋頭:鈴木 昭	最高位:横綱(90歳)
B1部屋(バリトン)	出場73名 休場 7名	部屋頭:新木邦男	最高位:横綱(92歳)
B2部屋(バス)	出場 9名 休場 4名	部屋頭:岩尾信正	最高位:関脇(85歳)
番頭(団長) 山路永司	技芸取扱(副団長) 丸山隆男	庶務取扱(事務局長) 鶴野正樹	

◆氏名 = 初土俵(定期演奏会初出演)

*氏名 = 休場(陸上持機)